

東日本大震災と私

作成者 M.M2

最終完成日 H23 8月30日

▽ 地震当日 2011.3.11 の私の体験

東日本大震災が起こった日は、卒業式の前日でした。

放課後、友達や先生と話したり、寄せ書きをかいてもらっている人がほとんどでした。

突然揺れを感じ、みんな地震だと言って騒いでいました。

みんなでいたこともあり、私はそのときはあまりこわいと思いませんでした。

家に帰ると、暗くてストーブもついていなくて電気をつけようとしてもつかなくて、その時、地震の大きさを知りました。

その日は何度も余震が起こり、そのたびにびくびくしていました。

電気もつかず、お風呂にも入れなかったのもとても不便でした。

また、電話もなかなかつながらず、兄弟や家族をとっても心配しゆっくり寝ることができませんでした。

▽地震後3ヶ月間の私の動き

地震が起きてから電気、水のありがたさを改めて感じることができました。

地震がおきたことにより、卒業式がずれたり予定されていた行事がなくなったりして少し大変なところもありました。

テレビでは被災地の様子やそのボランティアをしている様子が写されていましたが、自分が実際にその場に行って協力することができないことが残念でした。

そのなかでも自分が取り組めることとしてこまめに電気を消したり、水を出しすぎたり無駄に使わないようにしたりして、節電節水に努めました。

▽今私にできること

できるなら、ボランティアをしたいですが簡単に行くことはできないのでまずは、節電節水を心がけて生活したいです。

たくさんのお店で節電をしていますが、自分もそれに協力したいと考えています。

今はあまり思いつかないけど、その時何か思いついたらそれを実行したいです。

▽In English

You must use water and the electricity modestly if you want to help victims.

It is important to cooperate.

Of course, I do my best for these.

